

東京大学農助教授は農村関係の調査を所
 始されたが聴講者が多すぎて夏の実習の事
 とあり、大いに喜んでり悲しんだり
 個人の魅力もさることながら、農村に対
 する（広く村落研究の）関心が如くにひ
 ろまりつゝある傾向の端的な現はれと云は
 ねばなるまい。



釘板

菓子だけだろうが。

附記 ッガリ板は、研究通格の恩救
 きの客、ピリッと辛しのきいた面白い記事
 と、老いも若きも多教およせ下さい。

(納菓子)

村落研究が
 片商での手工
 業的コッコツ
 しんわりむつ
 つりの威を脱
 して、統一的
 な歴史的な方
 法と希望にこ
 たえて奮闘す
 る時期に立つ
 てゐるようだ。
 夏の調査の
 書入れ時ほど
 づいた。さあ
 これからだ
 と考えるのは痛